［2005 年 8 月創刊　通巻第 178 号　今号の発行部数 ネット配信］

LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０２０年５月号

いつも「明るい自閉症講座」を読んで頂きありがとうございます。
今月はお休みさせて頂いてます。ごめんなさ〜い♡ 4月6日(月)より私の店(くろねこ・くっ)を
自粛休業しております。その分を家で朝から晩までずーとマスクを作っています。
…が、個人で作るのは数も少なく作っても作っても追いつかない感じです。それだけマスクの
重要性と不足を実感♡ まだまだ頑張って！と思っているのですが今度は資材が手に入いりにくくなり…
ネットでは値段が高騰しています。いよいよ限界か…(涙)
なんとか手に入れてお求めやすいお値段でと頑張りまーす ^^
そして、国からマスクの配布があります。施設などにはすでに届いていますが、このマスクがかなり
小さい！使えないから要らない!!という方も多いかも？そこで要らない方のを集めて使える
大きさに作り替え、足りなくて困ってる施設へ寄付させて頂こうかと動ごき始めて
います。せっかくもらったのに捨てるのはもったいない！ならば必要としている方へ♡
一日も早くコロナが終息して平穏な毎日に戻りますよう願いと祈りをこめて。
ありがとうございます♡　　くろねこ七桜

→P.5 に続く

♬ステイホーム　で　はじめたこと♬　みんなの工夫♪（P.4,5,6 でいろいろ掲載）

イラスト　平井由恵

- [作家 鶴島緋沙子のもぐらの目 73] さようならコロナちゃん
- 入院障害者が地域に戻る為に　皆が出来る事と共生社会
- 特集　＝＝＝ステイホームではじめたこと＝＝＝
  ◆いま流行りのＺｏｏｍを始めました◆オンラインで初飲み会◆配布されたマスク、不要な方はぜひ寄付を◆親子でおうち時間を楽しむ動画配信◆電子書籍無料公開◆スカイプでピアノレッスン
- 今月の五行歌
- うたかた話(11)　今昔物語集（1）
- 秀作エッセイ　母の思い出　イベント紹介

「ＬＩＰ編集局」 https://www.love-dugong.net/lip/
連絡先
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL：070-5653-6913(18 時以降)

LIP とは……Local Information Paper の頭文字をとったものです。

「もぐらの目」～七十三～　　鶴島緋沙子

さようならコロナちゃん

あなたは一体どこからやってきたの、コロナちゃん。

木枯らしが去ったあとの寒々とした庭の梅の木に鮮やかな濃いピンク色の花が咲き、やがて頬を撫でる春風と共に、野山が満開の桜色に覆われるこの日本の国の素晴らしさを聞き及び、今度はここだとばかり、姿を隠してやって来たのね。

あなたは、一体いつもどこで生きているの。多分宇宙のどこかで、満天の星を眺めながら、さて今年は、どこの星に着地しようかなと一族郎党引き連れて狙っているのでしょう。

宇宙の中には、たくさんの星があるというのに、よりによって、私たち人間が、支配するこの地球にやって来るなんて。あなたにとって、この地球の何がそんなに魅力的に映ったのかしら。

あなたと違って、私たち人間は、誰にも見える同じ形をしているのよ。だけど形が同じだからと言って油断は禁物。その一人一人の中には、心という厄介なものを抱えているのだから。

そんな人間の最初の種が、気の遠くなるような長い時を経て現在の人間に成長し、時には憎しみあったり、時には愛しあったりしながら、子孫を残してきたのね。ここに到着するまでに、私たちは、どれだけ人間以外の動物や植物を犠牲にしてきたことでしょう。

妙に知恵だけが発達して、同じ地球に住む素手で戦えば負けるのが一目瞭然の大きな象や、虎や、蛇を手なずけ、囲いの中に閉じ込め、食べ物を餌に巧みに支配し、おまけに多くの人に、お金をとって観せるなんて、思えば恥ずかしいことを平気でやってきたなんて。

それでも拭えない少々の良心の呵責を、目に見えない神や仏を念ずることで少しは癒してきたつもりの私たち人間。そんな傲慢で、悪賢い人間をやっつけようと地球に目を付けたコロナちゃん。わかりました。了解です。だからあなたも早く退散してね。

そうだ、これからも私たち人間は、原子力だの水爆などと、途方もないものを発達させることで、自らを死地に誘っていることに気付くべきだわ。

そんな時、一番に犠牲になるのは、老人や子供。社会的に弱い人たち。利口なあなたと違ってね。もう充分でしょう。別れの時は来たわ。どこでも生きていけるコロナちゃん、これ以上私たち人間を困らせないで。宇宙には無数の星があるんだから、どうぞそちらへ移住して！　この文章が皆さんの目に留まる五月には、もう地球にはいないこと、約束してね、さようならコロナちゃん。

最後に三月二十一日付け朝日新聞夕刊掲載のコロナ最初の発生地武漢に住む中国の作家・方方さんの文章を紹介します。

――一つの国が文明国であるかどうかの尺度は、高層ビルや車の多さや強大な武器や軍隊や科学技術の発達や、卓越した芸術の派手な会議や絢爛な花火や世界各地で豪遊する旅行客の数ではない。唯一の尺度は、弱者にどう接するか、その態度だ――

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」（つげ書房新社刊）などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。著書『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児（者）親の会」の元代表。

自立とは何か
入院障害者が地域に戻る為に
皆が出来る事と共生社会

精神病院から退院して、その人が地域住民として暮らす為の支援の事を、福祉関係者の間では地域移行支援と呼ぶそうですが、これらの進め方として、退院を目指す人（以降・障害当事者と書きます）を単なる病者として見る医学モデルでなく、地域の不備による生活のしづらさを見る社会モデルの視点で考え、障害当事者のリハビリだけでなく、障害当事者も地域も安心して暮らせるように、地域の啓発や資源との調整と資源開発にも努めねばならないとされています。

地域で生活する当たり前の権利

これらは、「たまたま」精神障害になった人も、ごく当然に人権を有しているという事に依拠した支援が必要だと考えられているからです。障害者権利条約 19 条には自立した生活及び地域社会への包容が謳われ、精神保健福祉法には障害者総合支援法と相まって障害当事者の社会復帰と自立と社会参画促進が謳われます。

そして、そもそも人権は人間が生まれながらにして持っている基本的な権利ですから、障害当事者にもそれは当然該当するはずです。

従って、障害を理由にして、施設での暮らしで良しとしたり、地域での生活にあたって、その障害当事者に特別な努力を求めたりという事は、差別と成り得ますから、そのような暮らしを障害当事者に求める事は許されないのだと結論できないでしょうか。

一般には精神・身体に関わらず、「障害者の尊重を」と言われますけれども、福祉関係者に限らず、地域の人達も、障害当事者を尊重するのではなく「その人の当然の人権を保証する責務を負うている」と考えるべきでないでしょうか。

一方で、福祉関係者は、この人権を常に意識し、障害当事者と地域の支援にあたらねばならないのです。これは障害当事者の人権を優先し、地域に押し付ける事ではなく、皆が等しく人権を享受できるよう調整（啓発・協力・調査）する事です。それに加え、障害当事者の生活実態を踏まえ、既存の法律を改善していく取組を思考する事も必要でしょう。

3つの「自立」

一方で、地域住民の皆さんに求められる事としては、「自立」についての誤解をなくして頂く事が一例として挙げられましょう。

自立の意味は大きく三つあります。一つめは、経済的自立、自分で稼いできて自分の暮らしを維持する事。二つめは、日常的自立、自分のお金は自分で采配する事や、食事・歯磨きなど日常の暮らしを維持する事。三つめは、社会的自立、友達が居たり頼れる人が居たり街の中で孤立していない事です。障害当事者が何かしらの支援を得て、これらを満たしていれば、その人は立派な自立状態であると云えるのです。

例えば、経済的自立を障害年金や生活保護で補い、自分のお金は自分で管理し、友達や福祉との関係も維持していて街の中で孤立しておらず、一人暮らしを維持しているなら、それは立派な自立状態です。

この中で、自分のやりたい事、その人の好きな趣味に打ち込んだり、極端な話(日常的自立＝自分のお金を自分で采配して生活に支障をきたさないのであれば)、パチンコで遊んでも構わないのです。もちろん他のパターンもありましょう、例えば、友達にも恵まれてるし、経済的には自立できているが、おうちの片付けが苦手だ。この場合は、その部分だけ支援（お手伝い）が入っていて上手く行ってるのであれば、やはり自立です。

よりよい共生社会

人それぞれ、生き方は色々あっていい。

これを地域住民の皆さんが理解できれば、障害を持つ人も、もっとノビノビと人生を送れる環境が出来ないでしょうか。そうすれば障害当事者も、臆することなく地域に帰ってきて生活を送れる。そして、元々地域に居た人と、地域に戻ってきた人の交流も進み、よりよい共生社会が進んでいくように思うのです。

特定非営利活動法人エンパワセツルメント
～我がごと丸ごと地域共生社会と権利擁護～
代表　竹谷綾
TEL：072-807-5199　https://jp-hitori.net/

つながり合うことを、あきらめないために。
いま流行りのＺｏｏｍを始めました。

このコロナ禍は１年以上、いや、もっと続くかもしれない。そのことが見えてきたとき、私はすっかり打ちのめされていました。

生業のフリーランス・ライターの仕事が、もう、できなくなる(この仕事の基本である取材活動が「濃厚接触」そのものですから)。そもそも、仕事の大部分を占めている老人クラブの活動が休止に追い込まれている。また、生業以外で関わってきた家族会の集まりや、障害のある子どもの高校進学についての学習会なども軒並み中止となり、いつ再開できるか、見通しが立たない。収入の道が閉ざされる恐怖とともに、自分が大切にしてきたものが崩れていく不安に、夜も眠れなくなりました。

そんなとき、光明となったのが、ＬＩＰ４月号「言いたい放題！ アッキー28 号」の『Ｚｏｏｍ初体験』の記事でした。これを読んで、ウェブ会議を使って生き残りが図れるのではないかと思いついたのです。筆者のアッキーさんにＺｏｏｍに興味があることを伝えると、さっそく、文中に登場するバンコク在住のＳさんにつないでくださり、４月９日、Ｓさんが主宰するＺｏｏｍ練習会に参加させていただくことができました。

Ｚｏｏｍとは、インターネットを通じて、おたがいの顔を見ながら会話ができるウェブ会議システムのひとつです。スマホでもタブレットでもパソコンでも利用できます。練習会では、初心者の私でも簡単にネット上の「会議室」に入れて、参加者のみなさんと顔を合わせることができました。ウェブ会議というと無機的なイメージを持つ人も多いと思いますが、けっしてそうでもなく、バンコク、東京、大阪と、それぞれ遠く離れたところにいるのに、まるで目の前にいるみたいな感じで話ができて、心が温まるひとときを過ごせました。

こうしてＺｏｏｍを初体験したところで、その翌日、フェイスブックで立ち上げた「新型コロナウイルスと障害」というグループの管理者どうしでＺｏｏｍで話し合いたいというお誘いが飛び込んできて、たちまちウェブ会議が身近なものになってきました。

ウェブ会議のいいところだと思うのは、人が同じ場所に集まっての従来の会議だと、声の大きい人だけがしゃべって終わってしまったりしますが、ウェブ会議では参加者全員が等しく存在感があり、声の小さい人も尊重されている感じがあることです。ＩＴが苦手な人、スマホやパソコンを持っていない人を排除しかねない点は気をつけないといけませんが、一方で、障害があったり、子育てや介護をしていたりという事情から、これまで会議に出てくるのが難しかった人たちが参加しやすくなるという側面もあります。

今度、もう、できないと思っていたインタビュー取材を、Ｚｏｏｍを使ってやれることになりました。よく言われる、テレワークがもたらす新しい価値観とやらは私は全く信じていませんが、これから、ウェブ会議で集まりを持つことや、講演会やイベントを行うことを模索していきたいと思っています。いまの状況を生き延びるために。つながり合うことを、あきらめないために。

（フリーランス・ライター　合田享史）

「オンラインで初飲み会」

４月 18 日、Zoom を使って最大 7 人が参加して３時間くらいの初飲み会をしました。意外と違和感なくいい感じにできますよ～。
最後はコロナによる今後の世界がどうなるかの話で盛り上がり（笑）。
自宅にこもってるのは辛いですよね。ネット飲み会しませんか？　（よもぎん）

♬ ステイホーム で はじめたこと ♬　みんなの工夫

［表紙からの続き］

配布されたマスク、不要な方はぜひ寄付してください。制作費等は、私が負担します。申し訳ありませんが、うちまでの送料のみご負担下さい。

(定形外郵便で 120 円ほど)

連絡先：〒573-1156 枚方市片鉾東町 20-1

くろねこ・くぅ　中井 直美 宛

（くろねこ七桜）

離れていてもつながってるよ！

３月から休室になっているママステーションですが、親子でおうち時間を楽しんでもらえるようにと、工作や歌などをいろんなジャンルの動画をお送りします。一緒に楽しみましょうね！

（１）廃材を使って手作りおもちゃ「ガラガラ」を作ろう！
https://youtu.be/OLqN_6hbGRc

（２）えほんのお部屋ひまわり畑オススメ！春の絵本
https://youtu.be/bii6fliYJ7w

（３）おうちでバランスボールエクササイズ！
https://youtu.be/6Gdxit7oYrc

↑こちらのリンク
またはＱＲコード→

◆連絡先：「子育て支援ネットワーク」072-845-6818　（担当：三浦）

電子書籍を無料公開♪　巣ごもりのおともに、電子書籍体験をいかがでしょう。

コロナ禍の間の期間限定でとれぶ出版部の電子書籍を無料公開します。いずれも枚方在住の方の作品です。

◆その１◆
ステイホームの時間を使って、鶴島昭雄さんの戦争体験の本の電子書籍版を完成させました。ＬＩＰ２０１５年 10 月号からはじまり、２０１８年６月号の最終回まで、ほぼ隔月掲載されたシリーズの全文章を掲載しています。また、その後、同じくＬＩＰに掲載された「無駄話」１～４を巻末に掲載しました。

◆その２◆
松ゆうきさんの１作目の小説集「春へまっすぐ」も公開。２作目の小説の出版も決まっているそうです。2020 年秋の予定。

◆まだ他にも公開準備中♪　乞うご期待。
こちらまたはＱＲコードから　→　https://love-dugong.net/books/

◆連絡先　books@love-dugong.net

♬ ステイホーム で はじめたこと ♬　みんなの工夫

スカイプでピアノレッスン

再びピアノを習い始めて、２６年になる。先生はマンションの公園で子どもを遊ばせていた時のママ友で、それ以来週に１度先生の自宅でレッスンを受けている。色々なできごとがあったが「来るだけで上等」という先生に甘えて続けてこられた。

レッスンが途切れて２ヶ月。「こんな時こそ音楽が大事よね」という先生の発案で、スカイプでレッスンをすることになった。２日前にはお互いに音と画像の確認をし、いよいよレッスン当日。私はピアノを弾き始めた。先生も自宅のピアノの前で同じ楽譜を広げながら、私の弾く手をしっかり見ているのを感じる。先生はここにいないのに、私の緊張感といったら半端ない。先生の指導は細部に渡って的確で、同室で２台のピアノを並べてレッスンを受けているようだった。

始める前は半信半疑だったが、これなら大丈夫。自粛が終わるまで、スカイプレッスンを楽しんでいこう。まずは練習しなくっちゃ！

松本　知恵子

いつ再開できるか
先が見えないけど
毎日
夕ご飯の用意の前に
ピアノの練習

スカイプで
ピアノレッスン開始
２カ月ぶりに
人前で弾く緊張感で
ああ　指が　リズムが

２ヶ月ぶりのピアノレッスン
Ｗｅｂで開始
こんなに鮮やかに
音色が届くなんて
予想以上の成果

できるかどうか
誰にもわからない
でも
未来に希望を託して
準備はしよう

ＬＩＰが選ぶ　今月の五行歌

人の
世の
嵐がもたらす
花の
平和

さなぎ

パリ、ニューヨーク、ニューデリー
テレビに映る無人の街角
スケート場に並べられた棺
息をつめて眺める
２０２０年３月

桑本明枝

思い切って
車線変更したら
スイスイ走れるようになった
拘ることは
なかったんだ

いぶやん

五行歌ひらかた歌会では、緊急事態宣言を受け、メールや郵送で行う「紙上歌会」を月一度行っています。ご興味を感じた方は、akkie.toyotaka@gmail.com または 090-5893-5635（豊高）までお問合せください。

うたかた話（77）
今昔物語集（１）

前回は私の使用している名前の始まりを書きました。その時の終わりに次回は“格言”に戻る様な書き方をしましたが、“ことわざ、格言”の本を見ました所、膨大な数の言葉があり、その中から選ぶ事はそこそこ大変だと考えました。そこで今回も“今昔物語集”からお話しを選んでいきたいと思います。

パソコンの「フリー百科事典（ウイキペディア）」に依りますと『今昔物語集』は遠く平安時代の末期に「日本霊異記」、「三宝絵」、「本朝法華験記」等を元ネタとして作られた物語集で、平安時代の有名な物語の「竹取物語」も取り入れられています。この本の構成は“天竺部、震旦部”“本朝（日本）仏法部”“本朝世俗部”に分かれています。各巻にどの様なお話しがありますか書いてみますと、

巻第一　から　巻第五は天竺で、
「釈迦如来が人界に宿り給へる語　第一」
「舎利弗、外道と術を競べたる語　第九」
巻第六　から　巻第十までは　震旦部で、
「震旦の秦の始皇の時に天竺の僧渡れる語　第一」
「玄装三蔵、天竺に法を伝えて帰りこれる語　第六」
巻第十一　から　巻第二十までは本朝付仏法で、
「聖徳太子　此朝にして　初めて仏法を弘めたる語　第一」
「女人清水の観音に仕りて利益を蒙れる語　第九」
巻第二十二から巻三十一までは本朝世俗部で、
「大織冠　初めて藤原の姓を賜れる語　第一」
「平将門、謀反を発し誅せられたる語　第一」

此れ等は古文の小説を読んで居るつもりで読んでも非常に面白く、芥川龍之介ではありませんが現代文に変えて何かに書いてみたいと思います。「聖徳太子が初めて仏法を弘めたる話」などは非常に面白く、訳して現代小説に書き換えても十分に成り立つのでは無いでしょうか。

前回に書きました“源博雅が流泉・啄木の琵琶の秘曲を聴くために会坂に通った語”などもこの中に語られています（巻第二十四）

今回は「舎利弗」の話をしたいと思います。

正しい題目は項目の所にも書きましたが“巻第一天竺”の「舎利弗、外道と術を競べたる語　第十」です。

何故ここで「舎利弗」を選んだか少し書いてみたいと思います。

「舎利弗」と言うのは人の名前でお釈迦さんの弟子です、浄土真宗（以下門徒と云います）の方は「阿弥陀経」はよく上げられますから記憶に有ると思いますが、正式には「仏説阿弥陀経」と言われるお経で「正信偈」と共に浄土真宗では中心的なお経です。

「門徒」の方はよくご存じの事と思いますが 、法事でよくあげられるのが「三部経」です。「三部経」とは「無量寿経」、「観無量寿経」、「仏説阿弥陀経」の三つのお経の事です。この三つのお経は浄土真宗にとっては中心的なお経で、三部経と称して特別扱いにしております。“年忌”等の法事ではこの“三部経”がよくあげられます。

それに加えて親鸞が説いた「正信偈」（親鸞の書「教行信証」に掲載）が「阿弥陀経」同様、朝夕にあげられる事が多いのです。

阿弥陀経では「舎利弗」の名前は呼びかけの意味で項目の始めに呼ばれる名前で、サンスクリット語原典ではシャーリプトラと云われています。

今昔物語集に依りますと「舎利弗」は舎利弗尊者と云われ、元は外道の子として生まれました。外道とは異教徒の事で最初自分の母親のお腹を蹴破って出てくるのではないかと心配され、母親が鉄の腹帯をしたと書かれています。

舎利弗が母親の弟である長爪梵志（ちょうそうぼんし）に外道の典籍を習っている時仏の御弟子「馬勝比丘」の四諦の法を説くを聞きて、初めて外道の門徒に背て釈迦の御弟子となり、七日という早さで声聞四果の最上位の悟り“阿羅漢果”を得ました。その後外道と色々競いましたが総て勝利を得る事が出来、舎利弗の方に毘沙門出御して外道の方は降伏しました。それから舎利弗は釈迦の大切な弟子となり、仏説阿弥陀経の中でも色々と極楽の事を釈迦から受けられる様になりました。“舎利弗”の事は珍しく書かれていましたのでここに書き出してみました。

ここ暫くは今昔物語集掲載のお話しをしていきたいと思います。尚、今回も上記のPCの「フリー百科事典ウイキペディア」及び岩波文庫の「今昔物語集」のお世話になりました。

小田川徳男

秀作エッセイ　母の思い出

酒井政好

幼い日のアルバムを見ていると、日がな一日、母との思い出が蘇ってくる。

「母ちゃん、白髪が……」

「抜いてくれんね。白髪には七つの頭があるけん、かいか（痒い）」

「一本、五円でどうね」僕が言うと、母は「五円でん、十円でんよか。ばってん五円にしとく」と、笑った。

「おい（俺）が太うなったなら、こん百倍でん、千倍にでんしてくりゅうだね（くれるよ）」

「本当な。そんなら母ちゃんも嬉しかばってん」日向で猫のピーコが丸くなって眠っている。

♪　春は名のみの風の寒さや……母は歌った。

「ほりゃ、もう五本抜いた」母に見せると、母は少し悲しそうな顔をした。

「お前が大人になればなるほど、母ちゃんの白髪は増えるとたい」

「そんなら大人にならん」

「ばか、大人になって、母ちゃん孝行せにゃ、どがんすっと」

母は白髪を持った僕の手をパチンと叩いた。白髪が手からこぼれ、キラキラ光って飛び散った。

「母ちゃん、白髪はなして出来ると」

「お前たちがしょう（世話）をかけるからたい」

「しょうかけることは大人になることな」

「そがん、そがん。お前が大人になったら、全部、まっ白たい」

「母ちゃん、白髪は好きね」

「うんにゃ。好かん」

「ばってん、大人になることは嬉しかろもん」

「悲しゅうもある」

「なして」

「おいからどんどん離れていくからたい」

「母ちゃん、おいは母ちゃんの傍ば離れん」

「おお、離れんで、白髪ば抜いてくれろ」と、母は白髪の数を読んでいる。

「まだ、あるな」

「いっぱい、ある」

「もう、よか。禿げてしまう」

「母ちゃん、白髪と禿はどっちが好きな」

「どっちも好かん」と、母は言った。僕は白髪も禿も治すものはないか考えた。

「母ちゃん、山に行くときは、荒神様を頂いて行けと、いうとったあの屁黒を塗ろかい」

「屁黒？」

「あれば塗れば、母ちゃんは長生きするとじゃろ」

「おお、お前より長生きしゅうだい」

「そんならいつまでも、おいは淋しくなか。母ちゃん、長生きせんねよ」

「うんうん。そん時は、わるが飯を炊いてくれるとじゃろ」

「飯も、母ちゃんの好きなアラカブ（ガシラ）の味噌汁も、いっぱい、炊いて食わせる」

この時、春一番が二人を包むように吹いて、白髪を吹き飛ばした。

「ああ、何本、抜いたか分らんようになった」僕がつぶやくと母は「はい。十本分」と、財布から五十円玉を出して、僕に握らせた。僕は五十円玉を直ぐに、飴玉に変えたが、その時の母の白髪は、今も大事にとっている。母は九十五歳の大往生。僕は古希を迎えた。

僕はアルバムを静かに閉じた。あの日のように今、春一番が吹き渡っている。

「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」酒井政好さんの作品です。
講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

イベント・サークル・ボランティア情報

***** 無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ *****

5/26（火）　10:30～　バザー　　枚方市役所本館北側

お近くにお越しの際にはぜひいらしてください。皆でお待ちしております＾＾

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

障害者労働センター　　枚方市中宮山戸町10-12-101

TEL　072-848-0508

ネットショップ　URL:http//paso0508.cart.fc2.com

ひらつー「枚方市民にだけ」読んでほしい情報サイト

枚方つーしん　検索

● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●